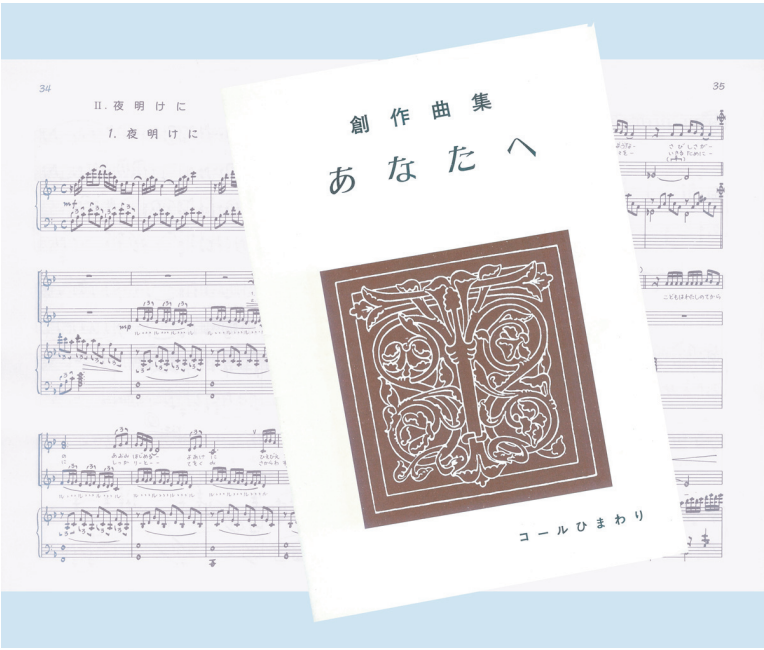
朝日新聞　１９８４年１２月１１日

本になったママのコーラス

府中の「ひまわり」10周年記念

歌うだけでなく作詞や作曲活動も続けている府中市のママさんコーラスグループ「コールひまわり」（斉藤寿美代・代表）が結成10周年を機に、11曲をまとめた創作曲集「あなたへ」を出版した。主婦の日々の生活を主婦の言葉で歌った曲を、広く各地のコーラスグループに知ってもらいたい、という願いをこめた。



出版された創作曲集「あなたへ」

創作曲集出版

主婦の言葉でつづった11曲

「コールひまわり」の中に五十七年秋、作詞、作曲を勉強するグループ「それいゆ」が生まれた。「そろいのドレスで、きれいに歌うのもいいけれども、どこかよそゆきの歌みたいで…」「自分たちで詩や曲を作ったら、本当の歌ができないかしら」。そんな話し合いがきっかけだった。

勉強会は毎月第二木曜日の午後、同市府中の中央文化センターで開いている。メンバーは十人前後。作品を持ち寄り、意見を出し合った。

「あなたへ」は、「女声合唱のための七つのバラード『あなたへ』」をはじめ「夜明けに」（三曲）と「ひまわり」。作曲は、まだグループの手におえず、ほとんどを作曲家、木下そんき、松永勇次両氏に依頼した。作詞はすべてグループのメンバー。

「あなたへ」に入っている「しあわせって？」は、みんなで合作した。

「幸せってなあに／しあわせ！　しあわせってしあわせってなあに／心ゆるせる友がいて／わたしにできることがあり／みんなとつなぐ手があって／歩いて行ける足がある／ララララ……／歌ってゆける心がある」

幸福の基準がそれぞれに異なり、最大公約数をとった。

わが子の詩がもとになったこともある。苦吟する母親を見かねて、小学校六年の娘が「お母さん、詩ってもっと気楽に作るものよ、肩の力をぬいて」。そして、「自転車」が生まれた。

「くるっくるっくるっと回る車輪／きらっきらっきらっと回る車輪……」

曲の一部は、すでに市民合唱祭などでも披露され、好評だった。今度の出版もそれが直接の契機となった。中心メンバーの一人来栖美津子さん（五七）は「できることなら、全国各地のコーラスグループにも歌ってもらいたい」と、夢をふくらませている。

「あなたへ」はＢ５判五十四頁八百円。

問い合わせは来栖さん方（〇四二三ー六六ー〇五八七）へ。

朝日新聞記事　転記